

# 幾何学概論第二 (MTH.B212)

0: 準備

山田光太郎

`kotaro@math.titech.ac.jp`

[www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2020/geom-2/](http://www.math.titech.ac.jp/~kotaro/class/2020/geom-2/)

東京工業大学理学院数学系

2020年12月03日 (2020/12/10 訂正)

# 目標

## 事実

- ▶  $\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  上で定義された  $C^\infty$ -級写像

$$p: U \ni (u, v) \mapsto (x(u, v), y(u, v), z(u, v)) \in \mathbb{R}^3$$

が,  $U$  の各点で「 $p_u$  と  $p_v$  が一次独立」という性質を満たしているならば  $p$  は「なめらかな曲面」を与える.

- ▶  $\mathbb{R}^3$  の領域  $D$  上で定義された  $C^\infty$ -関数  $F: D \rightarrow \mathbb{R}$  に対して  $S := F^{-1}(\{0\}) \neq \emptyset$  とする. このとき  $dF = (F_x, F_y, F_z) \neq \mathbf{0}$  が  $S$  の各点で成り立つなら  $S$  は「なめらかな曲面」である.

## 関数のグラフ

$\mathbb{R}^2$  の領域  $W$  上で定義された  $C^\infty$ -級関数  $f: W \rightarrow \mathbb{R}$  のグラフ

$$\{(x, y, f(x, y)); (x, y) \in W\}$$

は「なめらかな曲面」である。

# 逆写像定理

## 定理 (逆写像定理)

$\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  で定義された  $C^\infty$ -級写像

$$F: U \ni (u, v) \mapsto F(u, v) = (\xi(u, v), \eta(u, v)) \in \mathbb{R}^2$$

のヤコビ行列式

$$\frac{\partial(\xi, \eta)}{\partial(u, v)} = \det \begin{pmatrix} \xi_u & \xi_v \\ \eta_u & \eta_v \end{pmatrix} = \xi_u \eta_v - \xi_v \eta_u$$

が  $a \in U$  で零でないとする、 $a$  の近傍  $V$  で次を満たすものが存在する：

- ▶  $F|_V: V \rightarrow \mathbb{R}^2$  は単射，
- ▶  $(F|_V)^{-1}: F(V) \rightarrow U$  は  $C^\infty$ -級．

# 逆写像定理

系

$\mathbb{R}^2$  の領域  $U$  から  $\mathbb{R}^3$  への  $C^\infty$ -級写像

$$p: U \ni (u, v) \mapsto p(u, v) = (x(u, v), y(u, v), z(u, v))$$

が

$(a, b) \in U$  において  $p_u(a, b)$  と  $p_v(a, b)$  は一次独立

を満たすならば,  $(a, b)$  の近傍  $V$  と  $\mathbb{R}^2$  の領域  $W$  上の  $C^\infty$ -級関数  $f: W \rightarrow \mathbb{R}$  が存在して,

像  $p(V)$  は  $f$  のグラフ  $\{(x, y, f(x, y)); (x, y) \in W\}$  と合同

である.

# 正則曲面

## 定義

領域  $U \subset \mathbb{R}^2$  上で定義された  $C^\infty$ -級写像

$$p: \mathbb{R}^2 \supset U \ni (u, v) \mapsto p(u, v) = (x(u, v), y(u, v), z(u, v)) \in \mathbb{R}^3$$

の特異点とは

$p_u(u_0, v_0)$  と  $p_v(u_0, v_0)$  が一次従属となるような点  $(u_0, v_0) \in U$

のこと .

写像  $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$  が特異点をもたないとき ,

正則にパラメータ付けられた曲面 , 正則曲面

という .

# グラフは正則曲面

## 例

領域  $W \subset \mathbb{R}^2$  上の  $C^\infty$ -級関数  $f$  のグラフ

$p: W \ni (x, y) \mapsto p(x, y) = (x, y, f(x, y)) \in \mathbb{R}^3$  は正則曲面である .

## 事実

写像  $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$  が正則曲面ならば , 各点  $a = (u_0, v_0) \in U$  の近傍  $V$  で次を満たすものが存在する :

$p|_V$  の像  $p(V)$  は関数  $f(x, y)$  のグラフと合同である .

# 陰関数定理

## 定理 (陰関数定理)

$\mathbb{R}^3$  の領域  $U$  上の  $C^\infty$ -級関数  $F: U \rightarrow \mathbb{R}$  が,  
 $\mathbf{a} = (a_1, a_2, a_3) \in U$  で (a)  $F(\mathbf{a}) = 0$ ; (b)  $F_z(\mathbf{a}) \neq 0$  を満たすとき,  
 $\mathbf{a}$  の近傍  $V$  と  $(a_1, a_2) \in \mathbb{R}^2$  の近傍  $W$  上の  $C^\infty$ -級関数  $f$  が  
存在して  $F^{-1}(\{0\}) \cap V = \{(\mathbf{w}, f(\mathbf{w})) ; \mathbf{w} \in W\}$ , とくに  
 $F(\mathbf{w}, f(\mathbf{w})) = 0$  ( $\mathbf{w} \in W$ ) が成り立つ.

# 陰関数定理

系

$\mathbb{R}^3$  の領域  $U$  上の  $C^\infty$ -級関数  $F$  が,  $a \in U$  で  $F = 0$ ,  
 $dF = (F_x, F_y, F_z) \neq \mathbf{0}$  を満たすならば,  $a$  の近傍  $V$ ,  $\mathbb{R}^2$  の領域  
 $W$ ,  $C^\infty$ -級関数  $f: W \rightarrow \mathbb{R}$  が存在して,  $F^{-1}(\{0\}) \cap V$  は  $f$  の  
グラフと合同である.

# 正則曲面

## 例

$C^\infty$ -級関数  $F: \mathbb{R}^3 \rightarrow \mathbb{R}$  に対して  $S := F^{-1}(\{0\}) \neq \emptyset$  かつ  $S$  の各点で  $dF \neq 0$  ならば, 各  $P \in S$  の近傍  $V$  が存在して  $S \cap V$  は正則曲面の像である.

このとき  $S$  自身を正則曲面ということもある.

## 例

正の整数  $m$  に対して  $F(x, y, z) := x^m + y^m + z^m - 1$  とすると

$$S := F^{-1}(\{0\}) = \{(x, y, z) \in \mathbb{R}^3; F(x, y, z) = 0\}$$

は正則曲面である.

# 接ベクトル空間

## 定義

正則曲面  $p: U \rightarrow \mathbb{R}^3$  の点  $(u_0, v_0) \in U$  に対して

$$dp(T_{(u_0, v_0)}\mathbb{R}^2) \\ := \left\{ \left. \frac{d}{dt} \right|_{t=0} p \circ \gamma(t); \gamma \in C^\infty((-\varepsilon, \varepsilon), U), \gamma(0) = (u_0, v_0) \right\}$$

を  $p$  の点  $(u_0, v_0)$  における接ベクトル空間という。

# 接ベクトル空間

## 補題

正則曲面  $p$  に対して

$$\begin{aligned} dp(T_{(u_0, v_0)}\mathbb{R}^2) \\ = \text{Span}\{p_u(u_0, v_0), p_v(u_0, v_0)\} = (p_u(u_0, v_0) \times p_v(u_0, v_0))^\perp. \end{aligned}$$

とくに, 接ベクトル空間の次元は 2.

# 接ベクトル空間

## 補題

正則曲面  $S = F^{-1}(\{0\})$  上の  $(a, b, c)$  における接ベクトル空間は

$$\begin{aligned} (\text{grad } F(a, b, c))^{\perp} &= (F_x(a, b, c), F_y(a, b, c), F_z(a, b, c))^{\perp} \\ &= \left\{ \begin{pmatrix} v_1 \\ v_2 \\ v_3 \end{pmatrix} ; v_1 F_x(a, b, c) + v_2 F_y(a, b, c) + v_3 F_z(a, b, c) = 0 \right\} \end{aligned}$$

で与えられる。